

平成28年度 デイサービスサンライフ安室

事業計画書（案）

通所介護事業所が増えていく中で積極的な情報の発信を定期的におこない、利用者様に選んでいただけるよう新たなサービス構築を目指す。また、他事業所や外部研修等で情報を得ながらサービスの差別化や職員の視野を広げる機会を持てるよう努めたい。

【 目 標 】

- I. 新たな加算の算定
- II. 中重度化の対応
- III. 利用者様サービスの向上
- IV. 収入と利用者数の確保

I. 新たな加算の算定

算定要件の確認をおこない要件を満たしている加算の算定を勧めていく。介護福祉士の配置が50%以上が算定要件であるサービス提供体制強化加算（Iイ）と同一法人での勤務継続年数3年以上の職員が30%以上必要であるサービス提供体制強化加算（II）の取得が可能であると予測される。どちらかしか算定ができない為、18単位であるサービス提供体制強化加算（Iイ）の算定を4月より行う。行政への確認をおこないながら届け出を実施する。

II. 中重度化の対応

- ① ご利用されている方の身体レベルが中重度化しつつある。増えつつある中重度のご利用者様の介助に対応できるよう個々のケースで話し合いの場を設け、介助方法の検討と統一をおこなう。
- ② 日々変化していく利用者様の変化を見逃さないよう職員連絡ノートを活用し、情報を共有化の下に介護事故を防止していく。
- ③ 職員の腰痛も問題として挙げられている現状でコルセットの着用を義務化し、腰痛予防の対策をすすめる。

III. 利用者様サービスの向上

- ① 変わりゆく利用者様ニーズに応えるため、新たな特色を作りサービスの差別化をはかる。
- ② 個別援助計画書の作成にあたって期限を守り、評価の記載欄について書式の見直しをおこない、利用者様や家族様にも見やすく、評価の欄を加えて作成し同意を得る。
- ③ 手段的日常生活動作（ボタンや衣類の着脱、衣類をハンガーにかける等）を取り入れたレクリエーションや個別機能訓練を実施し、自宅での生活支援に繋げる。

IV. 収入と利用者数の確保

昨年度は介護報酬改定により基本介護費が通所介護においては平均 45 単位減算、介護予防通所介護では要支援Ⅰが 376 単位、要支援Ⅱが 752 単位減算となり、収益にも大きな影響があった。事業所を選んでもらう際の選択肢に加えてもらえるようチラシの作成をおこない、地域包括支援センター・居宅介護支援事業所への営業活動をすすめる。

平成 28 年度予想利用人数

(単位：人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
平成 27 年度実績	31.2	32.1	30.5	30.2	30.8	29.3	30.7／平均
月合計	812	834	793	815	800	763	4,817
平成 28 年度予想	30.3	30.8	31.0	31.0	31.3	31.2	30.9／平均
月合計	788	801	806	806	845	811	4,857

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
平成 27 年度実績	30.8	29.6	29.8	29.8	28.7	28.5	30.1／平均
月合計	832	739	804	712	689	770	9,363
平成 28 年度予想	31.0	31.2	32.0	32.0	31.8	32.0	31.3／平均
月合計	806	811	864	800	763	864	9,765

H28 年 2・3 月は予想です。

平成 28 年度の目標収入

(単位：千円)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
平成 27 年度実績	6,607	7,010	6,911	7,074	7,059	6,634	41,295
平成 28 年度予想	6,598	6,922	6,709	6,692	7,150	6,815	40,886
差異	▲9	▲88	▲202	▲382	91	181	▲409

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
平成 27 年度実績	7,259	6,684	6,811	6,222	5,305	6,198	79,774
平成 28 年度予想	6,781	7,043	7,514	6,814	6,812	7,713	83,543
差異	▲478	359	703	592	1,507	1,515	3,769

H28 年 2・3 月は予想です。